

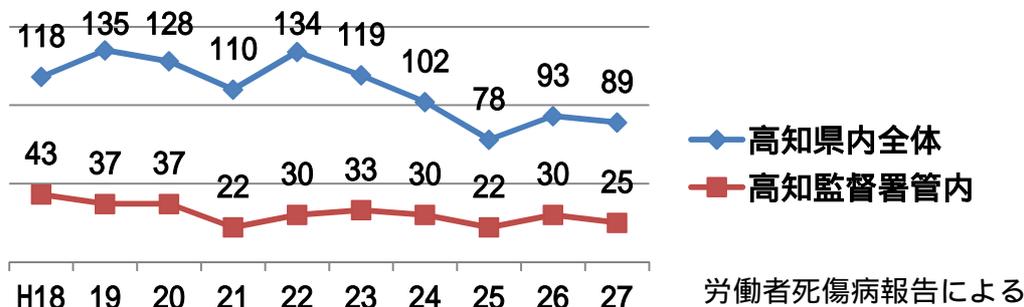
林業現場の労働災害防止対策

— 高知の山で、あなたと仲間を守るために —

林業は高知県の重要産業ですが、労働災害は未だ絶えず、憂慮すべき状況です。本パンフレットは、“同種災害を繰り返さない”ことを目的として作成しました。皆さんご自身と仲間を守るため、必ず実施して頂きたいことを、好事例を踏まえて紹介しています。労働災害防止のための“決め事（ルール）を繰り返して”ください。

1 林業の労働災害は長期的には減少傾向ですが、近年は増減を繰り返しています。

【林業】休業4日以上労働災害発生状況



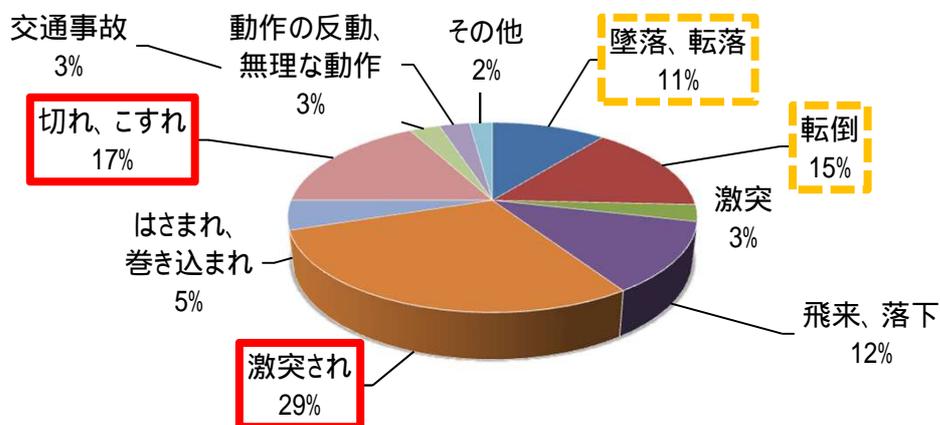
2 林業の死亡災害は、年によって多発する傾向があります。

【林業】死亡災害発生状況

年	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
県内	1	4	0	3	1	1	1	1	4	0

3 林業の労働災害は、事故の型別では「激突され」災害が最も多くなっています。

【林業】事故の型別労働災害発生状況



高知監督署管内の5年間計で、労働者死傷病報告による。

伐木時のルールを再確認

— 災害を繰り返さない、繰り返すのはあなたと仲間を守る合図と退避 —

高知監督署管内の林業の労働災害149件（5年計）中、激突され災害41件の分析結果。

伐倒した際に伐倒木が跳ね上がり、激突される	...	5件
つるがらみのため、伐倒中に方向が変化し激突される	...	3件
伐倒中に伐倒方向が変化し、激突される	...	8件
伐倒方向の変化理由：「別の立木に当たる」、「受け口追い口の不備により“つる”が効いていない」、「小径木の伐倒時に受け口を作らずに斜め切りで切り落とした」等		
立木を伐倒したところ、周囲で作業していた同僚に激突	...	2件



～ 退避場所の選定をしていない、伐倒時の退避不足
伐倒方向の決定や立木の状態の確認など、準備が不十分 ... 等
互いの合図と退避確認の不足、作業開始前の打合せが不十分 ... 等

Q：繰り返される激突され災害を、どのように防ぐか？

A：法遵守で、合図と退避を繰り返すことが必要です！

法 危険防止に関する規則 労働安全衛生規則第477条（抜粋）

- 事業者は、伐木の作業を行うときは、立木を伐倒しようとする労働者に、それぞれの立木について、次の事項を行わせなければならない。
 - 伐倒の際の退避場所を、あらかじめ選定すること。
 - かん木、枝条、つる、浮石などを取り除くこと。
 - 伐根直径の4分の1以上の深さの受け口を作ること（胸高直径40cm以上）。
- 立木を伐倒しようとする労働者は、前項各号に掲げる事項を行わなければならない。

ポイント

予定通りの方向に倒れないことを想定し、退避を必ず行ってください。また、中小径木でも受け口を作りましょう。

法 合図に関する規則 労働安全衛生規則第479条（抜粋）

- 事業者は、伐木の作業を行うときは、伐倒について一定の合図を定め、当該作業に関係がある労働者に周知させなければならない。
- 事業者は伐木の作業を行う場合において、他の労働者に伐倒により危険を生ずるおそれのあるときは、労働者にあらかじめ、前項の合図を行わせ、他の労働者が避難したことを確認させた後でなければ、伐倒させてはならない。
- 前項の労働者は、同項の危険を生ずるおそれのあるときは、あらかじめ、合図を行い、他の労働者が避難したことを確認した後でなければ、伐倒してはならない。

ポイント

他の労働者の有無にかかわらず合図、確認を行うことが効果的です。また、合図には呼子などを活用しましょう。

適切な受け口の作成

ー 見本、お手本となる伐根を山に残しましょう ー

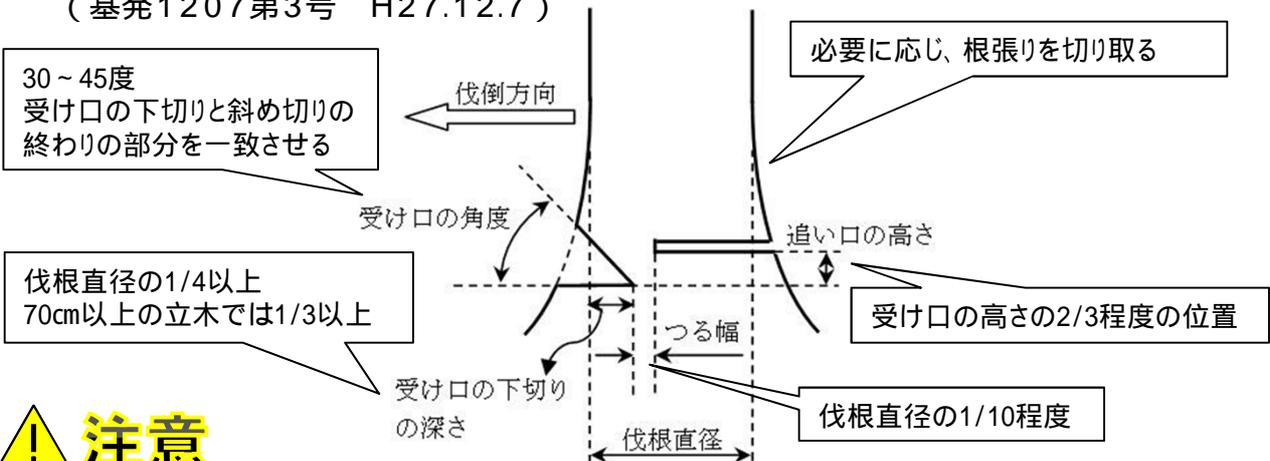
伐倒時、“不測の事態に備えての退避”は当然必要なことですが、伐倒予定方向に確実に倒すことも重要です。

死亡災害等の事例で、伐倒方向を定めるための「受け口」や「つる」が適切に作成されていないことが伐倒方向が変化し一因と考えられるものも見られます。

- ・「つる」は伐倒方向と伐倒速度を調整する重要なものです。「つる」が効いている場合、引きちぎれた跡が見られます。
- ・受け口の深さは、4分の1以上、大径木では、3分の1以上です。
- ・くさびは伐倒方向を確実なものとする等のために用います。立木の大きさに応じて本数を増やします。



「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」から抜粋
(基発1207第3号 H27.12.7)



注意

伐倒方法にはガイドラインで示す以外にも多様な方法があり、作業者の技能、経験、現場の状況等を踏まえ、最適な方法を選択すべきであることに留意してください。

安全な防護服の着用

- ビギナーもプロも、防護服は等しく守ります -

激突され災害に次いで、「チェーンソー等による切創災害」が多くなっています。切創災害には、切創防止保護具が効果的です。現場で義務化を図ってください。

- ・上下とも切創防止タイプの視認性の高い防護衣の他、機能的な保護帽、安全靴です。
- ・耳栓等の防音保護具、振動障害防止の手袋なども伐木作業安全ガイドラインに示されています。

保護帽（フェイスシールド・イヤーマフ付）



防護衣（上下）目立つ色



安全靴は屈曲性、重さ、前後バランス、つま先高さなどに注意！



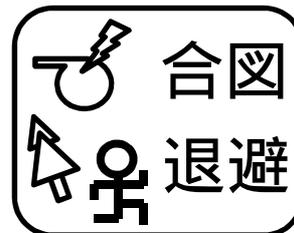
監督署として特定の商品を推奨するものではありません

おまけ ルールを目と心に焼き付ける！

— 明日もあなたの笑顔に会いたい。守りましょう合図と退避 —

このピクトグラムは、作業中に目に付く場所（チェーンソーなど）に貼って頂くために作成したものです。高知労働基準監督署では耐水シールを作成・配布しています。

「合図と退避シール」



印刷用データは監督署ホームページへ（アドレス要確認！）

高知労働基準監督署 合図と退避

検索

http://kochi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/news_topics/kantokusho_oshirase/kochi_roudoukijun/_120646.html

お問い合わせ先 : 高知労働基準監督署 安全衛生課 088-885-6031

本パンフレットの作成に当たって、高知労働基準監督署管内森林組合労働災害防止協議会の構成員の方々から、一部の写真提供等のご協力を頂きました。